2025年度　エキスパートエンジニア科2年シラバス

【1時限:50分】

区分	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員				実務経験	ページ
学科	エンジン応用Ⅰ・Ⅱ	121137	2年前期	12	白川　竜也	中村 豊史	小野澤 真史	中島 剛	有	2
学科	エンジン応用Ⅲ・Ⅳ	121138	2年前期	15	白川　竜也	中村 豊史	小野澤 真史	中島 剛	有	3
学科	エンジン応用Ⅴ・Ⅵ	122136	2年後期	2	白川　竜也	中村 豊史	小野澤 真史	中島 剛	有	4
学科	シャシ応用Ⅰ・Ⅱ	121135	2年前期	17	藤本　哲夫	櫻井 魁人	大川　護	米村 貴則	有	5
学科	シャシ応用Ⅲ・Ⅳ	121136	2年前期	17	藤本　哲夫	櫻井 魁人	大川　護	米村 貴則	有	6
学科	シャシ応用Ⅴ・Ⅵ	122135	2年後期	2	藤本　哲夫	櫻井 魁人	大川　護	米村 貴則	有	7
学科	自動車法規Ⅰ	121127	2年前期	14	森　大輔	小酒 悠吾			有	8
学科	自動車法規Ⅱ	121128	2年前期	12	森　大輔	小酒 悠吾			有	9
学科	自動車検査Ⅰ	122127	2年後期	6	森　大輔	小酒 悠吾			有	10
学科	自動車工学Ⅰ	121131	2年前期	17	2年担当教員				有	11
学科	自動車工学Ⅱ	121132	2年前期	15	2年担当教員				有	12
学科	自動車工学Ⅲ	122131	2年後期	16	2年担当教員				有	13
学科	実践演習Ⅰ	123101	2年通年	233	2年担当教員				有	14
実習	エンジン応用Ⅰ	121237	2年前期	24	白川　竜也	中村 豊史			有	15
実習	エンジン応用Ⅱ	121238	2年前期	28	小野澤 真史	中島 剛			有	16
実習	エンジン応用Ⅲ	121239	2年前期	31	白川　竜也	中村 豊史			有	17
実習	エンジン応用Ⅳ	121240	2年前期	32	小野澤 真史	中島 剛			有	18
実習	エンジン応用Ⅴ	122234	2年後期	38	白川　竜也	中村 豊史			有	19
実習	エンジン応用Ⅵ	122235	2年後期	38	小野澤 真史	中島 剛			有	20
実習	シャシ応用Ⅰ	121233	2年前期	23	藤本　哲夫	櫻井 魁人			有	21
実習	シャシ応用Ⅱ	121234	2年前期	24	大川　護	米村 貴則				22
実習	シャシ応用Ⅲ	121235	2年前期	29	藤本　哲夫	櫻井 魁人			有	23
実習	シャシ応用Ⅳ	121236	2年前期	32	大川　護	米村 貴則				24
実習	シャシ応用Ⅴ	122232	2年後期	35	藤本　哲夫	櫻井 魁人			有	25
実習	シャシ応用Ⅵ	122233	2年後期	38	大川　護	米村 貴則				26
実習	総合Ⅴ	121227	2年前期	24	森　大輔	小酒 悠吾			有	27
実習	総合Ⅵ	121228	2年前期	24	森　大輔	小酒 悠吾			有	28
実習	総合Ⅶ	122227	2年後期	38	森　大輔	小酒 悠吾			有	29
実習	実践演習Ⅰ	123201	2年通年	92	2年担当教員				有	30
教養	社会人入門Ⅲ	121301	2年前期	50	2年担当教員				有	31
教養	社会人入門Ⅳ	122301	2年後期	120	2年担当教員				有	32
行事	行事		2年通年	44	2年担当教員				有	33

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅰ・Ⅱ	121137	2年前期	12時限	小野澤 真史、白川　竜也	
					中村 豊史、中島 剛	トヨタ販売会社

【授業の目的】
ジーゼルエンジンの燃焼方法について理解する
ジーゼルエンジンの燃料装置（インジェクションポンプ、インジェクションノズル）の構造、作動について理解する
電子制御式燃料噴射装置（EFI）の燃料系統および基本噴射の考え方について理解する

【修得目標】
・ ガソリンエンジンとの燃焼方法の違い、ジーゼルノックや白煙・黒煙の発生理由が説明できる
・ インジェクションポンプの噴射量制御の仕組み、ガバナ・タイマの必要性・作動が説明できる
・ インジェクションノズルの種類とその特徴が説明できる
・ インジェクタの構造、制御回路の電気の流れが説明できる
・ 基本噴射時間の決定方法、それに関するセンサーの作動が説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
A-1	ジーゼルエンジン構造・性能	構成部品、空気過剰率
A-2	ジーゼルエンジン構造・性能	構成部品、空気過剰率
A-3	ジーゼルエンジンの燃焼	燃焼過程
A-4	ジーゼルエンジンの燃焼	ジーゼルノック、燃焼室種類
A-5	ジーゼルエンジンの燃焼	燃料装置概要
A-6	燃料装置	燃料圧送の仕組み（プランジャの作動）
A-7	燃料装置	インジェクションノズルの種類、特徴
B-1	EFI	コンピューター制御の流れ、トヨタのエンジン電子制御、燃料噴射制御
B-2	EFI	燃料噴射量制御、構成部品と役割、電気の流れ
B-3	EFI	インジェクタ構造・作動、インジェクタ回路
11	修得試験	試験
12	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車ジーゼル・エンジン　3級自動車ジーゼル・エンジン　2級ガソリン・エンジン

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅲ・Ⅳ	121138	2年前期	15時限	小野澤 真史、白川　竜也	
					中村 豊史、中島 剛	トヨタ販売会社

【授業の目的】
予熱装置の必要性、グロープラグ式予熱装置の作動について理解する
電子制御式ジーゼルエンジン（コモンレール式、ユニットインジェクタ式）の制御・作動について理解する

電子制御式燃料噴射装置の補正噴射制御、電子進角（ESA）およびアイドル回転数制御（ISC）について理解する

【修得目標】
・ グロープラグ式予熱装置の電気の流れが説明できる
・ コモンレール式燃料噴射装置の構造・作動が説明できる
・ ユニットインジェクタ式燃料噴射装置の構造・作動が説明できる
・ 各走行状態で必要な空燃比とそのための燃料噴射時間の決定方法について説明できる
・ ESAによる点火時期制御の考え方、ISCの回転数制御の考え方について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
A-1	予熱装置	必要性と種類、グロープラグの種類
A-2	予熱装置	グロープラグ式の作動
A-3	予熱装置	グロープラグ式の作動
A-4	予熱装置	グロープラグの種類
A-5	予熱装置	グロー、水温センサー回路説明
A-6	予熱装置	高圧燃料噴射装置　コモンレール
A-7	予熱装置	高圧燃料噴射装置　コモンレール
B-1	EFI	補正噴射（基本噴射復習）
B-2	EFI	補正噴射（始動時～走行時）
B-3	EFI	補正に用いられるセンサ
B-4	EFI	基本噴射（吸入空気量）
B-5	ESA	点火装置復習（構成部品、IGコイル原理）
B-6	ESA	点火時期復習、点火時期制御
14	修得試験	試験
15	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車ジーゼル・エンジン　3級自動車ジーゼル・エンジン　2級ガソリン・エンジン

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅴ・Ⅵ	122136	2年後期	2時限	小野澤 真史、白川　竜也	
					中村 豊史、中島 剛	トヨタ販売会社

【授業の目的】
ジーゼルエンジンの様々な工夫（DPF、尿素SCR、可変吸気装置）について理解する
特殊エンジン（過給機、LPG、可変バルブタイミング）の構造、作動について理解する

【修得目標】
・ ジーゼルエンジンの排気ガス浄化の工夫（DPF、尿素SCR）が説明できる
・ 過給機、LPG、可変バルブタイミング機構の構造、作動が説明できる
・ 国家2級ジーゼルのエンジン分野の問題が理解できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	修得試験	試験
2	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車ジーゼル・エンジン　3級自動車ジーゼル・エンジン　2級ガソリン・エンジン

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ⅰ・Ⅱ	121135	2年前期	17時限	大川　護、米村 貴則	
					藤本　哲夫、櫻井 魁人	トヨタ販売会社

【授業の目的】
オートマチックトランスミッション（トルクコンバータ、プラネタリギヤユニット）の構造、作動について理解する
大型車両のブレーキ装置（エア・油圧式、フルエア、エキゾーストブレーキなど）の構造、作動について理解する

【修得目標】
・トルクコンバータの動力伝達の原理、トルクアップや伝達ロス低減の工夫について説明できる
・プラネタリギヤユニットの構造、共線図の見方について説明できる
・大型車両に用いられているブレーキ装置の構造、作動について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
A-1	AT	A/T概要、トルクコンバーター
A-2	AT	A/T概要、トルクコンバーター
A-3	AT	トルクコンバーター
A-4	AT	トルクコンバーター
A-5	AT	プラネタリーギヤユニット
A-6	AT	プラネタリーギヤユニット
A-7	AT	プラネタリーギヤ
A-8	AT	プラネタリーギヤ
B-1	大型シャシ	ブレーキ復習（一体型ブースタ）・概要
B-2	大型シャシ	分離型ブースタ
B-3	大型シャシ	ホイール取付方法、支持方式
B-4	大型シャシ	圧縮空気を作る部品
B-5	大型シャシ	エア・油圧式ブレーキ
B-6	大型シャシ	エキゾーストブレーキ・エディカレントリタータ
B-7	大型シャシ	フルエア式ブレーキ
16	修得試験	試験
17	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・修得試験　83.3%
・平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・日整連　：　2級自動車シャシ　3級自動車シャシ

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ⅲ・Ⅳ	121136	2年前期	17時限	大川　護、米村 貴則	
					藤本　哲夫、櫻井 魁人	トヨタ販売会社

【授業の目的】
オートマチックトランスミッションの変速制御（油圧制御装置、CVT）の考え方について理解する
大型車両に用いられているサスペンション、ステアリング、ディファレンシャルの構造、作動を理解する

【修得目標】
・ オートマチックトランスミッションの変速制御（油圧制御式、電子制御式）について説明できる
・ CVTの変速制御の考え方、構造・作動について説明できる
・ 大型車両に用いられているサスペンション、ステアリング、ディファレンシャルの構造、作動について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
A-1	AT	油圧制御装置
A-2	AT	油圧制御装置
A-3	AT	油圧制御装置
A-4	AT	電子制御式AT（油圧式との違い）
A-5	AT	電子制御式AT（油圧式との違い）
A-6	AT	AT理解度確認
A-7	AT	AT機能点検復習
A-8	AT	日産AT 構造・作動
A-9	AT	日産AT 構造・作動
B-1	大型シャシ	ボデー振動及び揺動
B-2	大型シャシ	サスペンションの性能
B-3	大型シャシ	エアサスペンション
B-4	大型シャシ	前輪二軸車・LSD
B-5	大型シャシ	ステアリング装置（R＆B）
B-6	大型シャシ	車軸の構造
16	修得試験	試験
17	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車シャシ　3級自動車シャシ

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ⅴ・Ⅵ	122135	2年後期	2時限	大川　護、米村 貴則	
					藤本　哲夫、櫻井 魁人	トヨタ販売会社

【授業の目的】
パワーステアリング装置（油圧式、電動式）の構成、構造・作動について理解する
ホイールアライメント各要素の必要性、点検・調整方法について理解する

【修得目標】
・ パワーステアリング装置（油圧式、電動式）の構成、構造・作動について説明できる
・ ホイールアライメント各要素の必要性、不具合時の影響が説明できる
・ ABS、トラクションコントロール、4WS機構の必要性、機能が説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	修得試験	試験
2	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車シャシ　3級自動車シャシ
・
・

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	自動車法規Ⅰ	121127	2年前期	14時限	森　大輔	トヨタ販売会社
					小酒 悠吾	トヨタ販売会社

【授業の目的】
道路運送車両の保安基準について理解する

【修得目標】
・ 道路運送車両の保安基準に関する各基準値を説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	保安基準	自動車の装置（車体関係）
2	保安基準	自動車の装置（車体関係）
3	保安基準	自動車の装置（車体関係）
4	保安基準	自動車の装置（車体関係）
5	保安基準	自動車の装置（灯火関係）
6	保安基準	自動車の装置（灯火関係）
7	保安基準	自動車の構造、装置（原動機及びシャシ関係）
8	保安基準	自動車の構造、装置（原動機及びシャシ関係）
9	保安基準	自動車の構造、装置（原動機及びシャシ関係）
10	保安基準	自動車の装置（運転操作）
11	保安基準	自動車の装置（車体関係）（公害防止関係）
12	保安基準	自動車の装置（公害防止関係）、確認試験
13	修得試験	試験
14	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　法令教本

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	自動車法規Ⅱ	121128	2年前期	12時限	森　大輔	トヨタ販売会社
					小酒 悠吾	トヨタ販売会社

【授業の目的】
道路運送車両の保安基準について理解する
道路運送車両法について理解する

【修得目標】
・ 道路運送車両法（法令概要、自動車の種類等）について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	車両法	法令概要、自動車の種類
2	車両法	法令概要、自動車の種類
3	車両法	登録制度
4	車両法	登録制度
5	車両法	保安基準
6	車両法	保安基準
7	車両法	点検整備制度
8	車両法	点検整備制度
9	車両法	検査制度
10	車両法	検査制度
11	修得試験	試験
12	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　法令教本
・
・

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	自動車検査Ⅰ	122127	２年後期	6時限	森　大輔	トヨタ販売会社
					小酒 悠吾	トヨタ販売会社

【授業の目的】
道路運送車両法について理解する

【修得目標】
・ 道路運送車両法（認証制度等）について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	車両法	認証制度
2	車両法	認証制度
3	車両法	指定制度
4	車両法	指定制度
5	修得試験	試験
6	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　法令教本

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	自動車工学Ⅰ	121131	2年前期	17時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】
自動車の原理原則に関する基礎的な工学の考え方を理解する
自動車に関係する各種計算問題の解き方を理解する

【修得目標】
・ 一般工学（走行性能等）が説明できる
・ 単位換算等の計算問題が解ける

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	自動車工学	単位換算
2	自動車工学	トルク
3	自動車工学	排気量・圧縮比・ピストンスピード
4	自動車工学	軸重（乗用車重心、トラック荷物）
5	自動車工学	一般工学（走行性能）
6	自動車工学	理解度確認
7	自動車工学	レッカー
8	自動車工学	レッカー
9	自動車工学	速度・圧力
10	自動車工学	バルブタイミング
11	自動車工学	一般工学（エンジン性能）
12	自動車工学	理解度確認
13	自動車工学	理解度確認
14	自動車工学	理解度確認
15	自動車工学	理解度確認
16	修得試験	試験
17	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 授業配布プリント

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	自動車工学Ⅱ	121132	2年前期	15時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】
自動車の原理原則に関する基礎的な工学の考え方を理解する
自動車に関係する各種計算問題の解き方を理解する

【修得目標】
・ 一般工学（油材燃等）が説明できる
・ 軸重等の計算問題が解ける

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	自動車工学	前期Ⅰ復習
2	自動車工学	軸重
3	自動車工学	軸重
4	自動車工学	ギヤ比
5	自動車工学	ギヤ比
6	自動車工学	仕事
7	自動車工学	一般工学（油材燃）
8	自動車工学	バルブタイミング
9	自動車工学	Ωの法則
10	自動車工学	Ωの法則
11	自動車工学	プラネタリギヤ
12	自動車工学	プラネタリギヤ
13	自動車工学	一般工学（油材燃）
14	修得試験	試験
15	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 授業配布プリント

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	自動車工学Ⅲ	122131	2年後期	16時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】
自動車の原理原則に関する基礎的な工学の考え方を理解する
自動車に関係する各種計算問題の解き方を理解する

【修得目標】
・ 一般工学（等）が説明できる
・ エンジン回転と車速等の計算問題が解ける

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	自動車工学	エンジン回転と車速
2	自動車工学	軸重（乗用車重心、トラック荷物）
3	自動車工学	総復習（計算）
4	自動車工学	総復習（計算）
5	自動車工学	総復習（材料）
6	自動車工学	総復習（材料）
7	自動車工学	理解度確認
8	自動車工学	理解度確認
9	自動車工学	確認試験
10	自動車工学	確認試験
11	自動車工学	確認試験
12	自動車工学	確認試験
13	自動車工学	確認試験
14	自動車工学	確認試験
15	修得試験	試験
16	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 授業配布プリント

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

学科	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	実践演習Ⅰ	123101	2年通年	233時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】
国家二級自動車整備士試験で出題される各分野の問題について理解する

【修得目標】
・ 国家二級自動車整備士試験で出題される問題を理解し、国家試験に合格できる実力を身に付ける

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1-9	実践演習Ⅰ	エンジン　総復習（復習授業）
10-18	実践演習Ⅰ	シャシ　総復習（復習授業）
19-34	実践演習Ⅰ	工学・材料　総復習（復習授業、後期Ⅰの学園祭前日）
35-43	実践演習Ⅰ	法令　総復習（復習授業）
44-80	実践演習Ⅰ	実力試験と実力試験の解説授業（4月、6月、10月、12月）
81-85	実践演習Ⅰ	学科総復習（後期Ⅱ）
86-206	実践演習Ⅰ	国家試験過去問題の実施等（登録対策）
207-213	実践演習Ⅰ	卒業（修業）認定試験
214-233	修得試験	試験、試験発表

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車ガソリン・エンジン　2級自動車ジーゼル・エンジン　2級自動車シャシ
・ 登録試験〇×問題　トラの巻

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅰ	121237	2年前期	24時限	白川　竜也	
					中村 豊史	トヨタ販売会社

【授業の目的】
ジーゼルエンジンの燃料装置構成部品の役割・作動について理解する
ジーゼルエンジンの基本点検や測定・調整作業を修得する

【修得目標】
・ ジーゼルエンジンのコンプレッション測定ができる
・ インジェクションノズルの点検、噴射圧力の調整ができる
・ 列型インジェクションポンプの構造・作動を理解する

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン4行程、3要素、NOxの影響、ｴﾝｼﾞﾝオイルの分類
2	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン構成部品確認
3	ジーゼルエンジン	燃焼実験、圧縮熱測定
4	ジーゼルエンジン	始動方法（グロー）、空燃比実験
5	ジーゼルエンジン	始動方法（グロー）、空燃比実験
6	ジーゼルエンジン	燃焼過程燃焼実験、ジーゼルノック確認
7	ジーゼルエンジン	コンプレッションゲージ作業
8	ジーゼルエンジン	コンプレッションゲージ作業
9	ジーゼルエンジン	作業反復・確認試験
10	ジーゼルエンジン	作業反復・確認試験
11	ジーゼルエンジン	コモンレールの構造研究
12	ジーゼルエンジン	コモンレールの構造研究
13	ジーゼルエンジン	コモンレールの構造研究
14	ジーゼルエンジン	コモンレールの構造研究
15	ジーゼルエンジン	コモンレールの構造研究
16	ジーゼルエンジン	コモンレールの構造研究
17	ジーゼルエンジン	コモンレールの構造研究
18	ジーゼルエンジン	ユニットインジェクタの構造研究
19	ジーゼルエンジン	ユニットインジェクタの構造研究
20	ジーゼルエンジン	噴射時期点検作業
21	ジーゼルエンジン	噴射時期点検作業
22	修得試験	試験
23	修得試験	試験
24	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車ジーゼル・エンジン　3級自動車ジーゼル・エンジン　2級ガソリン・エンジン

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅱ	121238	２年前期	28時限	小野澤 真史	
					中島 剛	トヨタ販売会社

【授業の目的】
電子制御式燃料噴射装置の燃料系統、インジェクタの制御回路について理解する
電子制御式燃料噴射装置の基本噴射の考え方について理解する

【修得目標】
・ 安全作業を徹底した燃料配管の脱着作業ができる（燃料流出防止作業および燃料漏れ点検）
・ フューエルポンプ制御回路のトラブルシュート、外部診断機（オシロスコープ）でインジェクタ噴射波形の観測ができる
・ バキュームセンサーおよびクランク角センサーの特性、回路について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	EFI	燃料系統構成部品の確認
2	EFI	サーキットオープニングリレーの作動音確認、F／P駆動回路の確認
3	EFI	プレッシャーレギュレーターの役目、アクティブテスト、
4	EFI	燃料流出防止作業、燃圧計取り付け、燃料漏れ漏れ確認
5	EFI	プレッシャレギュレーターにかかるインマニ負圧と燃圧の関係
6	EFI	エンジン状態と燃圧の関係、課題
7	EFI	エンジン状態と燃圧の関係、課題
8	EFI	燃圧計取り外し、燃料漏れ確認
9	EFI	F／P制御回路の故障探究
10	EFI	F／P制御回路の故障探究
11	EFI	F／P制御回路の故障探究
12	EFI	F／P制御回路の故障探究
13	EFI	インジェクタ回路の作動・電位、噴射波形
14	EFI	インジェクタ端子電圧の測定
15	EFI	インジェクタ波形観測
16	EFI	インジェクタ波形観測と現象確認
17	EFI	インジェクタ波形観測
18	EFI	インジェクタ波形観測
19	EFI	基本噴射（ﾊﾞｷｭｰﾑｾﾝｻ回路の電位）
20	EFI	基本噴射（ﾊﾞｷｭｰﾑｾﾝｻ特性）
21	EFI	基本噴射（ﾊﾞｷｭｰﾑｾﾝｻ特性）
22	EFI	クランク角ｾﾝｻｰの構造研究
23	EFI	クランク角ｾﾝｻｰ単体点検
24	EFI	クランク角ｾﾝｻｰ信号波形・ｴﾝｼﾞﾝ回転計算
25	EFI	クランク角ｾﾝｻｰ信号波形・ｴﾝｼﾞﾝ回転計算
26	修得試験	試験
27	修得試験	試験
28	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　２級自動車ガソリン・エンジン　３級自動車ガソリン・エンジン

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅲ	121239	2年前期	31時限	白川　竜也	
					中村 豊史	トヨタ販売会社

【授業の目的】
ジーゼルエンジンの予熱装置回路（グローシステム）について理解する
ジーゼルエンジンの噴射時期の測定・調整方法を修得する

自動車に使用されている電子回路（発振回路、論理回路）の作動を理解する

【修得目標】
・ グローシステムのシステム点検およびトラブルシュートができる
・ 噴射時期点検および調整作業ができる
・ ジーゼルスモークメータおよびオパシメータの取扱いができる
・ 論理回路、発振回路の作動が説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	ジーゼルエンジン	予熱装置、構成部品の構造研究（ﾍﾞﾝﾁｴﾝｼﾞﾝで部品脱着）
2	ジーゼルエンジン	予熱装置、構成部品の構造研究（ﾍﾞﾝﾁｴﾝｼﾞﾝで部品脱着）
3	ジーゼルエンジン	グローパネルにて、作動説明
4	ジーゼルエンジン	グローパネルにて、作動説明
5	ジーゼルエンジン	グローパネルにて、作動説明
6	ジーゼルエンジン	グローパネルにて、「グロー系統点検」作業
7	ジーゼルエンジン	グローパネルにて、「グロー系統点検」作業
8	ジーゼルエンジン	グローシステム点検修得
9	ジーゼルエンジン	グローシステム点検修得
10	ジーゼルエンジン	グローシステム点検修得
11	ジーゼルエンジン	グロー、水温センサー回路説明
12	ジーゼルエンジン	グロートラブルシュート（パネル）
13	ジーゼルエンジン	グロートラブルシュート（パネル）
14	ジーゼルエンジン	グロートラブルシュート（パネル）
15	ジーゼルエンジン	グロートラブルシュート（パネル）
16	ジーゼルエンジン	グロートラブルシュート（パネル）
17	ジーゼルエンジン	コモンレール　実車確認
18	ジーゼルエンジン	ジーゼルスモークテスタ、オパシメータ取扱い
19	ジーゼルエンジン	噴射時期点検作業
20	ジーゼルエンジン	トラブルシュート（GTS）
21	ジーゼルエンジン	トラブルシュート（GTS）
22	半導体	論理回路
23	半導体	発振回路
24	半導体	LC回路　オームの法則
25	CAN通信	CAN通信システムの構造・機能
26	CAN通信	CAN通信システムの構造・機能
27	CAN通信	CAN通信システムの構造・機能
28	CAN通信	CAN通信システムの構造・機能
29	修得試験	試験
30	修得試験	試験
31	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車ジーゼル・エンジン　3級自動車ジーゼル・エンジン　2級ガソリン・エンジン

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅳ	121240	2年前期	32時限	小野澤 真史	
					中島 剛	トヨタ販売会社

【授業の目的】

電子制御式燃料噴射装置の補正噴射制御の考え方、使用している各種センサーの特性について理解する
電子進角（ESA）およびアイドル回転数制御（ISC）について理解する

外部診断機の取り扱いついて理解する

【修得目標】

・ 電子制御式燃料噴射装置の補正噴射制御の考え方、使用している各種センサーの特性について説明できる
・ 電子進角（ESA）、アイドル回転数制御（ISC）の制御方法について説明できる
・ ESAに関する点検（初期ｾｯﾄ点火時期、点火信号の確認）、ISCに関する点検（ISCV単体、作動点検）ができる
・ 外部診断機の取り扱い方法を修得する

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	EFI	水温ｾﾝｻｰの特性と制御、冷間時制御
2	EFI	水温ｾﾝｻｰの特性と制御、冷間時制御
3	EFI	ｽﾛｯﾄﾙﾎﾟｼﾞｼｮﾝｾﾝｻｰの特性と制御
4	EFI	ｽﾛｯﾄﾙﾎﾟｼﾞｼｮﾝｾﾝｻｰの特性と制御
5	EFI	ｽﾛｯﾄﾙﾎﾟｼﾞｼｮﾝｾﾝｻｰの特性と制御
6	EFI	フューエルカット制御、ハンチング現象
7	EFI	O2ｾﾝｻｰの構造と特性、空燃比ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ制御
8	EFI	O2ｾﾝｻｰの構造と特性、空燃比ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ制御
9	EFI	吸気温センサ特性
10	EFI	復習・フォロー
11	異常時制御	異常時の制御（ダイアグ表示、データモニタ、FFD）
12	異常時制御	各信号系統異常時のダイアグコード、電圧
13	異常時制御	ﾌﾘｰｽﾞﾌﾚｰﾑﾃﾞｰﾀと車両状況判断
14	異常時制御	ﾌﾘｰｽﾞﾌﾚｰﾑﾃﾞｰﾀと車両状況判断
15	EFI	燃料噴射量制御まとめ
16	EFI	燃料噴射量制御まとめ
17	EFI	燃料噴射量制御まとめ
18	ESA	点火装置構成部品確認、火花点検、
19	ESA	初期セット点火時期の確認、エンジン状態と点火時期の確認
20	ESA	基本点火進角、補正進角
21	ESA	外部診断機での波形読み取り
22	ESA	外部診断機での波形読み取り
23	外部診断機	外部診断機 外部診断機概要
24	外部診断機	外部診断機 外部診断機概要
25	外部診断機	灯火系トラブルシュート（プリウス）
26	外部診断機	灯火系トラブルシュート（プリウス）
27	外部診断機	灯火系トラブルシュート（カローラアクシオ）
28	外部診断機	灯火系トラブルシュート（カローラアクシオ）
29	外部診断機	灯火系トラブルシュート（カローラアクシオ）
30	修得試験	試験
31	修得試験	試験
32	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】

・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】

・ 日整連　：　2級自動車ガソリン・エンジン　3級自動車ガソリン・エンジン
・ トヨタ技術テキスト　：　第1、2ステップ、導入教育編

【授業外における学習】

毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】

授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ｖ	122234	２年後期	38時限	白川　竜也	
					中村 豊史	トヨタ販売会社

【授業の目的】
過給機およびジーゼルエンジンの排気ガス浄化装置の構造、作動を理解する
ジーゼルエンジンのトラブルシュートの進め方を理解する

【修得目標】
・ ジーゼルエンジンの排気ガス浄化装置の必要性、機能が説明できる
・ ジーゼルエンジン不調時のトラブルシュートができる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	特殊エンジン	過給機
2	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
3	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
4	エンジン	シャシDY（過給圧と出力の関係検証）
5	エンジン	シャシDY（過給圧と出力の関係検証）
6	特殊エンジン	過給機
7	特殊エンジン	過給機
8	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
9	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
10	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
11	ジーゼルエンジン	グロー電位
12	ジーゼルエンジン	グロー電位
13	特殊エンジン	過給機
14	特殊エンジン	過給機
15	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
16	ジーゼルエンジン	過給機　トラの巻
17	特殊エンジン	過給機　トラの巻
18	ジーゼルエンジン	排出ガス浄化装置
19	ジーゼルエンジン	排出ガス浄化装置
20	ジーゼルエンジン	排出ガス浄化装置
21	ジーゼルエンジン	排出ガス浄化装置
22	確認試験	トラブルシュート（GTS）
23	特殊エンジン	LPG、可変吸気装置
24	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
25	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
26	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
27	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
28	ジーゼルエンジン	トラブルシュート
29	ジーゼルエンジン	エンジン総復習
30	ジーゼルエンジン	エンジン総復習
31	ジーゼルエンジン	エンジン総復習
32	ジーゼルエンジン	エンジン総復習
33	ジーゼルエンジン	エンジン総復習
34	ジーゼルエンジン	エンジン総復習
35	ジーゼルエンジン	エンジン総復習
36	修得試験	試験
37	修得試験	試験
38	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　２級自動車ジーゼル・エンジン　３級自動車ジーゼル・エンジン　２級ガソリン・エンジン

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	エンジン応用Ⅵ	122235	2年後期	38時限	小野澤 真史	
					中島 剛	トヨタ販売会社

【授業の目的】
電子制御式噴射量装置の故障探求方法について理解する
配線図集の活用方法について理解する

【修得目標】
・ エンジン始動不能時の故障探求が正しい手順で行える
・ エンジン不調時の故障探求が正しい手順で行える
・ 配線図集を活用した灯火系のトラブルシュートができる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	EFIの異常時制御	故障探求
2	EFIの異常時制御	故障探求
3	EFIの異常時制御	故障探求
4	EFIの異常時制御	故障探求
5	EFIの異常時制御	故障探求
6	EFIの異常時制御	故障探求
7	EFIの異常時制御	故障探求
8	EFIの異常時制御	故障探求
9	EFIの異常時制御	故障探求
10	EFIの異常時制御	故障探求
11	EFIの異常時制御	故障探求
12	EFIの異常時制御	故障探求
13	EFIの異常時制御	故障探求
14	EFIの異常時制御	故障探求
15	EFIの異常時制御	故障探求
16	EFIの異常時制御	故障探求
17	EFIの異常時制御	故障探求
18	EFIの異常時制御	故障探求
19	EFIの異常時制御	故障探求
20	EFIの異常時制御	故障探求
21	EFIの異常時制御	故障探求
22	EFIの異常時制御	故障探求
23	EFIの異常時制御	ダイアグノーシス機能確認、不具合時の電位
24	EFIの異常時制御	故障探求
25	EFIの異常時制御	故障探求
26	EFIの異常時制御	故障探求
27	EFIの異常時制御	故障探求
28	EFIの異常時制御	故障探求
29	配線図集	配線図集の見方
30	配線図集	配線図集の見方
31	配線図集	論理回路パネル
32	配線図集	論理回路パネル
33	配線図集	灯火系トラブルシュート
34	配線図集	灯火系トラブルシュート（カローラアクシオ）
35	配線図集	灯火系トラブルシュート（カローラアクシオ）
36	修得試験	試験
37	修得試験	試験
38	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車ガソリン・エンジン　3級自動車ガソリン・エンジン
・ トヨタ技術テキスト　：　第1、2ステップ、導入教育編

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ⅰ	121233	2年前期	23時限	藤本 哲夫	トヨタ販売会社
					櫻井 魁人	トヨタ販売会社

【授業の目的】
オートマチックトランスミッションのトルクコンバータの構造、作動を理解する
オートマチックトランスミッションのプラネタリギヤユニットの構造、作動を理解する

【修得目標】
・トルクコンバータおよびオイルポンプの構造、作動が説明できる
・オートマチックトランスミッション構成部品に関する各点検（ワンウェイクラッチ、NSW、オイルポンプ）ができる
・プラネタリギヤユニットの構造、作動が説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	AT	ATF種類・特徴・交換時の注意点
2	AT	トルクコンバーター・オイルポンプ構造研究
3	AT	トルクコンバーター・オイルポンプ構造研究
4	AT	ECTの構成部品・基本点検
5	AT	ECTの構成部品・基本点検
6	AT	NSW構造研究
7	AT	NSW点検
8	AT	復習・フォロー
9	AT	プラネタリーギヤユニット
10	AT	A/T構造研究
11	AT	プラネタリーギヤユニット
12	AT	プラネタリーギヤユニット研究
13	AT	プラネタリーギヤユニット研究
14	AT	プラネタリーギヤユニット研究
15	AT	シフトロック機構・急発進防止装置研究
16	AT	平常試験
17	AT	理解度確認
18	AT	理解度確認
19	AT	理解度確認
20	AT	理解度確認
21	修得試験	試験
22	修得試験	試験
23	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・修得試験　83.3%
・平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・日整連　：　2級自動車シャシ　3級自動車シャシ

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ⅱ	121234	２年前期	24時限	大川 護	
					米村 貴則	

【授業の目的】
大型シャシのホイール及びタイヤ、アクスル、ブレーキ装置の構造、整備方法を理解する
ロープを使った捕縛作業を修得する

安全や快適性に関する自動車の電気装置（TSS、ナビゲーション）の機能について理解する

【修得目標】
・ 大型車のフロントブレーキの分解・組付け作業ができる
・ 大型車に用いられているブレーキ機構（エアブレーキ、複合ブレーキ）の構造、作動が説明できる
・ ロープを使った捕縛作業ができる
・ TSSやナビゲーションの機能、作動について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	安全作業・走行体験	タイヤ交換
2	安全作業・走行体験	キャビンの開閉、ジャッキアップ
3	安全作業・走行体験	タイヤチェンジャ・ジャッキ取扱
4	安全作業・走行体験	タイヤチェンジャ・ジャッキ取扱
5	大型シャシ	作業チェック(ブレーキ分解・組み付け)
6	大型シャシ	ブレーキ分組作業
7	大型シャシ	アクスルシャフト、タイヤ取付、ジャッキダウン
8	大型シャシ	アクスルシャフト、タイヤ取付、ジャッキダウン
9	大型シャシ	フレーム及びボデー
10	大型シャシ	エアブレーキ、複合ブレーキ、スプリングブレーキ構造研究
11	大型シャシ	エアブレーキ、複合ブレーキ、スプリングブレーキ構造研究
12	大型シャシ	エアブレーキ、複合ブレーキ、スプリングブレーキ構造研究
13	大型シャシ	リヤプレロード手順説明、全浮動式・センターブレーキ説明
14	大型シャシ	リヤプレロード手順説明、全浮動式・センターブレーキ説明
15	安全作業	タイヤ、アクスルシャフト、ドラム取り外し
16	安全作業	タイヤ、アクスルシャフト、ドラム取り外し
17	安全作業	タイヤ、アクスルシャフト、ドラム取り外し
18	安全作業	タイヤ、アクスルシャフト、ドラム取り外し
19	安全作業	タイヤ、アクスルシャフト、ドラム取り外し
20	安全作業	タイヤ、アクスルシャフト、ドラム取り外し
21	安全作業	タイヤ、アクスルシャフト、ドラム取り外し
22	修得試験	試験
23	修得試験	試験
24	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　２級自動車シャシ　３級自動車シャシ
・ JAMCAテキスト　：　自動車エンジニアのための電動車両整備の安全知識

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
実習	シャシ応用Ⅲ	121235	2年前期	29時限	藤本 哲夫	トヨタ販売会社
					櫻井 魁人	トヨタ販売会社

【授業の目的】

オートマチックトランスミッションの油圧制御装置の構造、作動を理解する
オートマチックトランスミッションの各種点検（基本点検、機能点検、ECT点検）方法を理解する

カーエアコンの構成部品の役割、作動を理解する
カーエアコンに関する各種点検方法、冷媒の回収・充填方法を修得する

【修得目標】

・ オートマチックトランスミッションの油圧制御装置の構造、作動について説明できる
・ オートマチックトランスミッションの基本点検、機能点検ができる
・ ECT構成部品の各種点検および機能点検ができる
・ カーエアコンの各種点検（冷媒量、性能テスト、冷媒圧力、冷媒漏れ）、冷媒の回収・充てん作業ができる
・ オートエアコンの制御方法、必要なセンサーの特性について説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	AT	AT基本点検、油圧制御装置構造研究
2	AT	AT基本点検、油圧制御装置構造研究
3	AT	AT基本点検、油圧制御装置構造研究
4	AT	復習・フォロー
5	AT	AT基本点検、油圧制御装置構造研究
6	AT	AT基本点検、油圧制御装置構造研究
7	AT	AT基本点検、油圧制御装置構造研究
8	AT	AT基本点検、油圧制御装置構造研究
9	AT	復習・フォロー
10	AT	変速線図
11	AT	AT機能点検
12	AT	AT機能点検
13	AT	AT機能点検理解度確認
14	AT	AT機能点検理解度確認
15	AT	AT機能点検復習
16	AT	油圧式ATのトラブルシュート
17	AT	ECT機能点検
18	AT	ECT機能点検
19	AT	ECT機能点検
20	空調装置	エアコン　構成部品の役割と作動
21	空調装置	トラブルシュート（灯火パネル）
22	空調装置	冷媒圧力点検
23	空調装置	冷媒回収、真空引き、冷媒充填
24	空調装置	内気、外気、日射センサ
25	空調装置	トラブルシュート（灯火パネル）
26	空調装置	トラブルシュート（A／Cブロアファン）
27	修得試験	試験
28	修得試験	試験
29	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】

・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】

・ 日整連　：　2級自動車シャシ　3級自動車シャシ

【授業外における学習】

毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】

授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ⅳ	121236	2年前期	32時限	大川 護	
					米村 貴則	

【授業の目的】
大型シャシのｴｱｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ型ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ、ﾘｻｰｷｭﾚｰﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾙ式ｽﾃｱﾘﾝｸﾞの構造・作動について理解する
シャシ関係の整備作業（フロントホイールベアリングのプレロード、タイヤチェンジャ取扱い）を修得する

安全や快適性に関する自動車の電気装置（エアバッグ）の構造、整備方法について理解する

【修得目標】
・ エアスプリング型サスペンション、リサーキュレーティングボール式ステアリングの構造・作動について説明できる
・ LSDの必要性、構造・作動について説明できる
・ フロントホイールベアリングのプレロード調整、タイヤチェンジャによるタイヤ交換作業が確実にできる
・ SRSエアバッグの整備上の注意点がわかり、安全に脱着作業が行える

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	大型シャシ	エアコンプレッサー、エアサスペンション、補助ブレーキ構造研究
2	大型シャシ	エアコンプレッサー、エアサスペンション、補助ブレーキ構造研究
3	大型シャシ	エアコンプレッサー、エアサスペンション、補助ブレーキ構造研究
4	大型シャシ	エアコンプレッサー、エアサスペンション、補助ブレーキ構造研究
5	大型シャシ	エアコンプレッサー、エアサスペンション、補助ブレーキ構造研究
6	大型シャシ	エアコンプレッサー、エアサスペンション、補助ブレーキ構造研究
7	大型シャシ	Ｒ＆Ｂ構造研究
8	大型シャシ	ステアリングリンク機構
9	大型シャシ	ステアリングリンク機構
10	大型シャシ	インタアクスルディファレンシャル
11	大型シャシ	Ｆハブプレロード調整
12	大型シャシ	Ｆハブプレロード調整
13	大型シャシ	Ｆハブプレロード調整
14	大型シャシ	Ｆハブプレロード調整
15	大型シャシ	Ｆハブプレロード調整
16	LSD	LSD構造研究
17	LSD	LSD構造研究
18	LSD	LSD構造研究
19	LSD	LSD構造研究
20	安全作業・走行体験	走行体験4WD
21	安全作業・走行体験	走行体験4WD
22	安全作業・走行体験	走行体験4WD
23	エアバッグ	エアバッグの構成部品、作動
24	エアバッグ	シートベルトの構成部品、作動
25	エアバッグ	エアバッグの作動
26	エアバッグ	運転席エアバッグ脱着
27	エアバッグ	運転席エアバッグ脱着
28	エアバッグ	エアバック・シートベルト作動（トラの巻）
29	エアバッグ	エアバック・シートベルト作動（トラの巻）
30	修得試験	試験
31	修得試験	試験
32	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　2級自動車シャシ　3級自動車シャシ

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ｖ	122232	２年後期	35時限	藤本 哲夫	トヨタ販売会社
					櫻井 魁人	トヨタ販売会社

【授業の目的】
パワーステアリング装置（油圧式、電気式）の構造・作動について理解する
パワーステアリング装置各部の分解・組付け方法、点検方法を修得する

カーエアコンの原理、冷凍サイクルの構成部品、冷媒の流れについて理解する

【修得目標】
・ 油圧式パワーステリング装置のベーンポンプ、コントロールバルブの構造、作動について説明できる
・ 油圧式パワーステリング装置の基本点検ができる
・ 電動式パワーステリング装置の機能、制御方法について説明できる
・ カーエアコン構成部品の取付位置、冷凍サイクル各部での冷媒の状態が説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	PS	ステアリング復習、PS必要性、概要
2	PS	PSの分類
3	PS	オイルポンプ 構造・作動
4	PS	オイルポンプ 構造・作動
5	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
6	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
7	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
8	PS	PS基本点検、ベーンポンプ作動復習
9	PS	コントロールバルブ 構造、作動
10	PS	コントロールバルブ 構造、作動
11	PS	PS基本点検、ベーンポンプ作動復習
12	PS	PS基本点検、ベーンポンプ作動復習
13	PS	PS基本点検、ベーンポンプ作動復習
14	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
15	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
16	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
17	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
18	PS	ベーンポンプ分解・組み付け、PS基本点検、エア抜き
19	PS	PS基本点検、ベーンポンプ作動復習
20	PS	油圧反力制御式 構造・作動
21	PS	電動PSコンピュータ脱着
22	PS	電動PSコンピュータ脱着
23	PS	電動PS基本点検
24	PS	電動PSトルクセンサー作動
25	PS	電動PSトルクセンサー作動
26	空調装置	冷暖房の原理、冷凍サイクル、冷媒の種類
27	空調装置	冷凍サイクルの構成部品、冷媒の流れ
28	空調装置	構造研究、車両にて主要部品の配置と冷凍サイクルの確認
29	空調装置	吹き出し口とコントロールパネル
30	空調装置	吹き出し口とコントロールパネル
31	空調装置	内外気切り替え、温度調整
32	空調装置	吹き出し口切り替え、風量調整
33	修得試験	試験
34	修得試験	試験
35	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　２級自動車シャシ　３級自動車シャシ

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	シャシ応用Ⅵ	122233	2年後期	38時限	大川 護	
					米村 貴則	

【授業の目的】
ホイールアライメント各要素の必要性、不具合時の影響を理解する
ホイールアライメントの測定方法（ターニングラジアスゲージ、CCKゲージ、トーインゲージ）を修得する

ハイブリッド車の動力分割機構の共線図について理解する

【修得目標】
・ ホイールアライメントの測定（ターニングラジアスゲージ、CCKゲージ、トーインゲージ）ができる
・ ホイールアライメントの調整方法を理解する
・ ホイールアライメント各要素の不具合時の走行性能への影響が説明できる
・ HV動力分割機構の共線図の見方が説明できる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	アライメント	アライメント概要
2	アライメント	キャンバ
3	アライメント	ターニングラジアスゲージ取扱
4	アライメント	ターニングラジアスゲージ取扱
5	アライメント	CCKゲージ取扱
6	アライメント	CCKゲージ取扱
7	アライメント	CCKの測定
8	アライメント	キャスタ
9	アライメント	キングピンアングル
10	アライメント	4輪アライメントテスタ
11	アライメント	4輪アライメントテスタ
12	アライメント	4輪アライメントテスタ
13	アライメント	4輪アライメントテスタ
14	アライメント	4輪アライメントテスタ
15	アライメント	作業チェック（アライメント測定）
16	アライメント	理解度確認
17	アライメント	アライメント点検・調整
18	アライメント	アライメント点検・調整
19	アライメント	トーインゲージ取扱
20	アライメント	トーインゲージ取扱
21	アライメント	トーインゲージ取扱
22	アライメント	作業チェック（アライメント測定）
23	TRC	トラクションコントロール
24	アライメント	アライメント調整方法
25	アライメント	アライメント調整方法
26	アライメント	アライメント調整方法
27	アライメント	アライメント調整方法
28	アライメント	アライメント調整方法
29	新技術	TSSの概要
30	新技術	TSSの作動
31	新技術	TSSの作動・エーミング
32	ナビゲーション	ナビゲーションの自車位置検出方法
33	HV	HV動力分割機構
34	HV	HV動力分割機構
35	HV	HV走行体験 （プリウスエンジンのみの走行）
36	修得試験	試験
37	修得試験	試験
38	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験 83.3%
・ 平常評価 16.7% 授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連 ： 2級自動車シャシ 3級自動車シャシ

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	総合Ｖ	121227	２年前期	24時限	森　大輔	トヨタ販売会社
					小酒 悠吾	トヨタ販売会社

【授業の目的】
日常点検およびプロケア10点検の方法、判定基準、記録簿の記入方法を修得する
多頻度作業（タイヤローテーション、ファンベルト交換）を修得する

【修得目標】
・ 日常点検およびプロケア10点検作業、点検後の記録簿記入が確実にできる
・ 各種点検の必要性、消耗部品の劣化のメカニズムが説明できる
・ タイヤローテーション、ファンベルト交換作業が確実にできる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	日常点検整備	前説明　点検概要（目的、種類、時期）
2	日常点検整備	前説明　メンテナンスノート、記録簿書き方
3	日常点検整備	日常点検・プロケア10（点検方法・判定方法）
4	日常点検整備	日常点検・プロケア10（点検方法・判定方法）
5	日常点検整備	日常点検・プロケア10（点検方法・判定方法）
6	日常点検整備	前説明　劣化のメカニズム、お客様へのアドバイス
7	日常点検整備	プロケア10（点検方法・判定方法）
8	日常点検整備	プロケア10（点検方法・判定方法）
9	日常点検整備	プロケア10（記録簿記入確認試験）
10	日常点検整備	プロケア10（記録簿記入確認試験）
11	日常点検整備	前説明　機器取り扱い（エアツール）
12	定期点検整備	エアツール取り扱い・タイヤローテーション(カローラ)
13	定期点検整備	ファンベルト交換作業（カローラ）
14	定期点検整備	ファンベルト交換作業（マークX）
15	日常点検整備	プロケア10（実車点検反復　カローラ）
16	日常点検整備	プロケア10（実車点検反復　カローラ）
17	定期点検整備	ファンベルト交換作業（実車反復　マークX）
18	定期点検整備	ファンベルト交換作業（実車反復　マークX）口頭質問
19	日常点検整備	理解度確認
20	日常点検整備	理解度確認
21	日常点検整備	理解度確認
22	修得試験	試験
23	修得試験	試験
24	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　法令教本

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	総合Ⅵ	121228	2年前期	24時限	森 大輔	トヨタ販売会社
					小酒 悠吾	トヨタ販売会社

【授業の目的】
12ヶ月定期点検の方法、判定基準、記録簿の記入方法を修得する

【修得目標】
・ 12ヶ月定期点検作業、点検後の記録簿記入が確実にできる
・ ブレーキパッドおよびタイヤの使用限度時期計算ができる
・ 点検後、お客様へのメンテナンスアドバイスができる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　足廻り点検）
2	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　足廻り点検）
3	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　足廻り点検）
4	定期点検整備	前説明　記録簿記入確認、ブレーキ・タイヤ距離推定
5	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　足廻り点検）
6	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　足廻り点検）
7	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　足廻り点検）
8	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　シビアコンディション）
9	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　シビアコンディション）
10	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　シビアコンディション）　口頭質問
11	定期点検整備	前説明　点検概要（目的、種類、時期）記録簿記入方法、分解整備について
12	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　エンジンルーム点検）
13	定期点検整備	12点復習・確認試験
14	定期点検整備	12点復習・確認試験
15	定期点検整備	12点復習・確認試験
16	定期点検整備	12点復習・確認試験
17	定期点検整備	12点復習・確認試験
18	定期点検整備	12点復習・確認試験
19	定期点検整備	12点復習・確認試験
20	定期点検整備	12点復習・確認試験
21	定期点検整備	作業反復・確認試験
22	修得試験	試験
23	修得試験	試験
24	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　法令教本

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	総合Ⅶ	122227	2年後期	38時限	森 大輔	トヨタ販売会社
					小酒 悠吾	トヨタ販売会社

【授業の目的】
ハイブリッド車のメンテナンス（ブレーキフルード交換、冷却水点検、冷却水エア抜き）方法を修得する
24ヶ月定期点検の方法、検査ライン機器の取り扱い方法を修得する

【修得目標】
・ ハイブリッド車のメンテナンス（ブレーキフルード交換、冷却水点検、冷却水エア抜き）ができる
・ 24ヶ月定期点検作業、点検後の記録簿記入ができる
・ 検査ライン機器の取り扱い、ブレーキ性能判定計算、ヘッドライト光軸調整ができる

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	定期点検整備	前説明　HV車整備（Bフルード交換、冷却水エア抜き）
2	定期点検整備	HV車整備（Bフルード交換、冷却水点検、トラシュー）
3	定期点検整備	HV車整備（Bフルード交換、冷却水点検、トラシュー）
4	定期点検整備	HV車整備（Bフルード交換、冷却水点検、トラシュー）
5	定期点検整備	HV車整備（Bフルード交換、冷却水点検、トラシュー）
6	定期点検整備	HV車整備（Bフルード交換、冷却水点検、トラシュー）
7	定期点検整備	HV車整備（Bフルード交換、冷却水点検、トラシュー）
8	定期点検整備	機器取り扱い（検査ライン）
9	定期点検整備	機器取り扱い（検査ライン）
10	定期点検整備	機器取り扱い（検査ライン）
11	定期点検整備	機器取り扱い（検査ライン）
12	定期点検整備	機器取り扱い（ブレーキ性能判定計算）
13	定期点検整備	HV車整備（ブレーキ廻り整備）
14	定期点検整備	HV車整備（ブレーキ廻り整備）
15	定期点検整備	HV車整備（ブレーキ廻り整備）
16	定期点検整備	機器取り扱い（光軸調整）
17	定期点検整備	法定点検24点（点検・判定方法　エンジンルーム点検）
18	定期点検整備	法定点検24点（点検・判定方法　エンジンルーム点検）
19	定期点検整備	法定点検24点（点検・判定方法　エンジンルーム点検）
20	定期点検整備	法定点検24点（点検・判定方法　エンジンルーム点検）
21	定期点検整備	法定点検24点（点検・判定方法　エンジンルーム点検）
22	定期点検整備	法定点検24点（エンジンルーム点検以外）理解度確認
23	定期点検整備	法定点検24点（エンジンルーム点検以外）理解度確認
24	定期点検整備	法定点検24点（エンジンルーム点検以外）理解度確認
25	定期点検整備	法定点検24点（エンジンルーム点検以外）理解度確認
26	定期点検整備	法定点検24点（エンジンルーム点検以外）理解度確認
27	定期点検整備	法定点検24点（エンジンルーム点検以外）理解度確認
28	定期点検整備	法定点検24点（エンジンルーム点検以外）理解度確認
29	日常点検整備	理解度確認
30	日常点検整備	理解度確認
31	日常点検整備	理解度確認
32	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　エンジンルーム点検）
33	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　エンジンルーム点検）
34	定期点検整備	法定点検12点（点検方法・判定方法　エンジンルーム点検）
35	定期点検整備	作業反復・確認試験
36	修得試験	試験
37	修得試験	試験
38	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 日整連　：　法令教本

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

実習	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	実践演習Ⅰ	123201	2年通年	92時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】
自動車販売会社に就職後、即戦力になること

【修得目標】
・ 自動車販売会社に就職後、即戦力となる技術・技能を修得する

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1～13	実践演習Ⅰ	セクション1（電技マニュアル・GTSの操作）
14～26	実践演習Ⅰ	セクション2（オルタ・ベルト脱着）
27～39	実践演習Ⅰ	セクション3（トラブルシュート）
40～52	実践演習Ⅰ	セクション4（定期点検技術）
53～65	実践演習Ⅰ	セクション5（多頻度作業・ﾀｲﾔﾁｪﾝｼﾞｬｰ）
66～77	実践演習Ⅰ	総復習（定期点検作業、多頻度作業等）
78～92	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

教養	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	社会人入門Ⅲ	121301	2年前期	50時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】
トヨタ販売店のサービススタッフとして必要となる業務知識、教養を修得する

【修得目標】
・トヨタ販売店の業務内容、自動車に関する税金・諸費用について説明できる
・テクノショップの業務の流れについて理解する
・トヨタ販売店の業務システム（ai21、Tecset）のサービス業務関係の操作方法を修得する

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	一般教養	販売業務と自動車の税金
2	一般教養	販売業務と自動車の税金
3	一般教養	TMCと販社の歴史「リーダーズ2」
4	一般教養	TMCと販社の歴史「リーダーズ2」
5	一般教養	TMCと販社の歴史「リーダーズ2」
6	一般教養	社会人としてのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの必要性と訓練
7	一般教養	社会人としてのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの必要性と訓練
8	一般教養	テクノショップ業務の流れ
9	一般教養	テクノショップ業務の流れ
10	一般教養	テクノショップ業務の流れ
11	一般教養	テクノショップ業務の流れ
12	一般教養	テクノショップ業務の流れ
13	一般教養	ai21操作
14	一般教養	Tecset操作
15～49	一般教養	インターンシップ（EE科進学予定者および高度科は専用授業）
50	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・修得試験　83.3%
・平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・授業配布プリント

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

教養	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	社会人入門Ⅳ	122301	2年後期	120時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】
トヨタ販売店のサービススタッフとして必要となる業務知識、教養を修得する
国家二級自動車整備士試験で出題される各分野の問題について理解する

【修得目標】
・ 電話応対、ご来店受付、引渡し応対ができる
・ 労働基準法、トヨタの保証制度について理解する
・ 国家二級自動車整備士試験で出題される問題を理解し、国家試験に合格できる実力を身に付ける

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1	一般教養	職場環境にかかわる知識（労働基準法）
2	一般教養	職場環境にかかわる知識（労働基準法）
3	一般教養	顧客ﾛｰﾌﾟﾚ(電話応対受付)
4	一般教養	顧客ﾛｰﾌﾟﾚ(電話応対受付)
5	一般教養	顧客ﾛｰﾌﾟﾚ(引渡し1ﾌｫﾛｰ)
6	一般教養	顧客ﾛｰﾌﾟﾚ(引渡し1ﾌｫﾛｰ)
7	一般教養	トヨタ保証制度
8	一般教養	トヨタ保証制度
9	一般教養	会社組織とｷｬﾘｱｽﾃｯﾌﾟ
10～14	一般教養	統一模擬試験（JAMCA模試）
15～28	一般教養	研修旅行
29-119	一般教養（実践演習Ⅱ）	国家試験過去問題の実施等（登録対策）
120	修得試験	試験

【成績評価方法・基準】
・ 修得試験　83.3%
・ 平常評価　16.7%　授業内で実施する理解度確認テストの評価、レポート課題の評価 など

【教科書・教材】
・ 授業配布プリント

【授業外における学習】
毎時間レポートの提出を求めます
全てのレポートの提出が修得試験の受験資格になりますので、欠かさずに提出してください

【履修に当たっての留意事項】
授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください

行事	科目名	コード	開講時期	時限数	担当教員	実務経験
	行事		2年通年	44時限	2年担当教員	トヨタ販売会社

【授業の目的】

【修得目標】

・

【授業計画】

回	テーマ	授業内容
1～3	始業式	始業式
4～7	オリエンテーション	オリエンテーション
8	防災訓練	防災訓練
9～12	HR	HR4月面談
13	健康診断	健康診断
14	献血	献血
15～21	スポーツ大会	スポーツ大会
22～35	学園祭	学園祭
36～41	HR	HR
42～44	卒業式（終業式）	卒業式（終業式）

【成績評価方法・基準】

・

【教科書・教材】

・

【授業外における学習】

スポーツ大会は、グリーンアリーナ神戸の体育館を使用します。

【履修に当たっての留意事項】

授業内で皆さんの考えを聞かせていただくことがあります。積極的に発言してください